

肥料コスト低減に向けた自己チェックリスト（鹿児島県版）

肥料価格が上昇しています。肥料コストを抑えるための取組を進めましょう。

たい肥の施用で土づくり

チェック

たい肥を施用すると、土がふかふかになり、土のなかの微生物が増え、土の養分も増えて地力が高まります。地力が高まると、肥料を減らすことができるようになります。

家畜ふん堆肥の施用効果

- 肥料の三要素「チッソ、リン酸、カリ」が含まれています。
- 石灰、苦土、微量要素も含まれています。

→ たい肥を継続して施用することで、土に肥料の養分が貯まっていきます。



- 通気性・排水性・保水性が良好になり、根が伸長しやすくなります。
- 土の中でいろいろな微生物が住みやすい環境ができます。

土壌の養分状態に応じた施肥

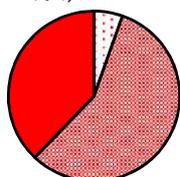
チェック

肥料価格上昇の主な成分であるリン酸、カリが蓄積している畑が増えています。土壌診断によって畑の養分状態を調べてみましょう。

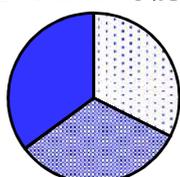
露地野菜畑の土壌養分実態（県内の露地野菜の土壌診断結果より）

- リン酸、カリは減肥できる可能性があります

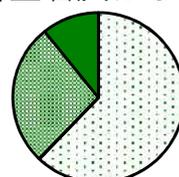
- 苦土石灰はしっかり補給しましょう



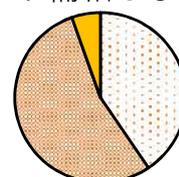
土壌中のリン酸



カリ



石灰



苦土

（凡例： 不足, 基準内, 超過）

化学肥料からの転換

チェック

輸入に頼る化学肥料の原料価格が上昇しています。原料に有機物を含む肥料などの利用を検討しましょう。

有機質肥料

- 油かすや鶏ふんなど

→ 化学肥料に比べてチッソの効き方が弱かったり、遅かったりする場合があります。



有機物と化学肥料が混合された肥料

- 混合堆肥複合肥料や特殊肥料等入り指定混合肥料など
- チッソ成分は化学肥料主体の肥料が多く、化学肥料と同じように使えます。

土づくりの重要性について

「土づくり3点セット」で作物生産力が向上します



たい肥



緑肥



② 土壌診断

養分分析による施肥改善
根や物理性の診断

① 有機物施用

保肥力の維持, 向上
団粒化の促進
生物性の改善

高地力

③ 深耕

排水性の改善
根域の拡大



緑肥

有機物の特徴

たい肥

イネ科作物

(ソルガム, トウモロコシ, 麦類等)

収量が多く, 土壌有機物を高める効果。
ただし土壌中での分解は遅い。



土づくり効果が高い

マメ科作物

(クロタラリア, レング, 青刈大豆等)

チッソ含有率が高く, チッソ肥料的効果。
土壌中での分解が速い。



肥料的効果が高い



牛ふんたい肥



豚ふん・鶏ふん
たい肥に比べて, チッソ, リン酸, カリ
含量が低い傾向です。
土壌物理性の改善など, 土づくり効果が
高いたい肥です。

豚ふんたい肥



牛ふんたい肥と
鶏ふんたい肥の中間的な性質を示し,
肥料的効果と土づくり効果の両面が期
待できます。有機物の分解は速いです。

鶏ふんたい肥



チッソ, リン酸,
カリが多く含まれていて, 肥効は速効
的です。採卵鶏ふんたい肥は, プロイ
ラー鶏ふんたい肥に比べ, チッソ, リ
ン酸, カリ, カルシウム含量が高いで
す。